

火災の危険を知らせる道具！

# 10年交換！定期点検！ 住宅用火災警報器



住宅用火災警報器について詳しくは  
こちらから



住宅用火災警報器は、煙や熱を感じ、警報音などで火災の発生を知らせてくれます。設置することで、火災にいち早く気づき、速やかな通報や消火、避難が可能となります。東京都の火災予防条例では、平成22年4月1日より、住宅内の全ての居室・台所・階段に設置することが義務付けられています。

しかし、設置から10年を経過すると電池切れや機器の劣化で、いざという時に鳴らない可能性があります。

交換

設置から10年経過したら本体を交換しましょう

古くなった住宅用火災警報器は、電池切れや電子部品の劣化などにより火災を感知しなくなる恐れがあります。設置から10年を目安に本体交換を行い、火災を見つけるようにしましょう。

設置した時期が分からぬときは？



住宅用火災警報器のふたを外して内部に書かれている製造年月からおおよその設置時期を推測しましょう。取付ける前には設置年月を本体に記載しましょう。

製造年月日 14 10 15

※2014年10月15日（製造）と表記されています。

点検

定期的に作動確認を行いましょう

【正常な場合】

正常を知らせる音声や警報音が流れます。※一般的に作動確認時の警報音等は自動で停止します。

【音が鳴らないときは】

電池がきちんとセットされているか確認しましょう。それでも鳴らない場合は、機器本体の故障の可能性があります。すぐに交換しましょう。

【故障かな？と思ったら】

本体からピッ、ピッ、と音が鳴ったり、ランプが点滅したりする時は、故障や電池切れを知らせるサインです。取扱説明書等をよく読み、本体を交換しましょう。

ボタンを押す

または

ヒモを引く

汚れがついたら乾いた布で拭き取りましょう！

※点検の目安は製品により異なるため、取扱説明書をご確認いただくとともに少なくとも半年に1回は点検をしてください。

火を消せる道具！

## 持っていますか？マイ消火器

ご自宅に消火器を備えましょう

消火器の効果

消火器を使用した火災では、使用しなかった火災と比べ、焼損床面積が約2割減少しています。  
また、消火器を使用した場合、7割以上のケースで被害軽減に効果がありました。

使い方は簡単！様々な種類の消火器

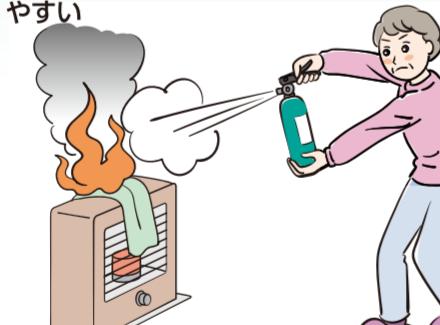
消火器

●消火能力に優れており、使用範囲が広い



住宅用消火器

●軽量かつコンパクトで、女性や高齢者も使いやすい



エアゾール式簡易消火具

●てんぷら油火災、ストーブ火災などの比較的初期段階の火災にも対応可能  
●持ち運びしやすく、ヘースプレーなどの製品と同等な構造で使いやすい



住宅用火災警報器と消火器は、地域の電器店、ホームセンター、家電量販店、インターネットショッピングなどで購入できます。

また、区市町村が消火器の設置に対する補助事業等を行っている場合があります。※実施内容は区市町村によって異なります。

## 住まいの防火防災診断

診断内容 [所要時間：約30分]

火災予防

暖房器具やガスコンロなどの使用状況、住宅用火災警報器の設置・維持管理状況など

地震対策

家具類の転倒・落下・移動防止対策など

日常生活事故

階段、床等の転倒危険箇所の状況、浴室内事故の危険性など

ご自宅をチェックしてみましょう！



東京消防庁公式アプリやYouTube東京消防庁公式チャンネルで、自宅における火災、地震、日常生活事故等の危険性とその対策について学びましょう！



アプリをダウンロード後、ホーム画面のチェックリストタブから「住まいの防火防災診断」を選択

11月9日は  
119番の日

# 119番通報で伝えてほしいこと

## 令和5年中の119番通報は過去最多！

1,102,956件  
※統計開始（平成26年）以降

119番通報のしくみ



およそ30秒に1件の割合で受け付けたことになります

令和5年中の通報のうち、携帯電話やスマートフォンからの通報は、全体の約7割（746,701件）を占めています。

携帯電話による通報は、通報者がいる場所を特定しにくいため、落ち着いて正確に場所を伝えることが大切です。

火災の場合に伝えること

◆消防車が向かう正確な住所  
例)〇〇区△△町△丁目△番△号

◆何が燃えているか

例)2階の部屋が燃えています。  
※初期消火ができない場合は、すぐに避難してください。



救急の場合に伝えること

◆救急車が向かう正確な住所  
例)〇〇区△△町△丁目△番△号  
〇〇マンション△△△号室

◆誰がどんな症状か

例)子供がぐったりしていて反応がありません。

◆通報した人の名前や連絡先  
救急隊から折り返しの電話をかける場合があります



住所が分からぬ場合は、目標物を探しましょう！



## 119番通報がつながりにくい場合

- ▶通報はつながるまで自分から電話を切らないでください。
- ▶お近くの消防署・出張所でも通報を受け付けています。
- ▶緊急性を要しない消防に関する問合せは、119番通報ではなく管轄の消防署に連絡してください。



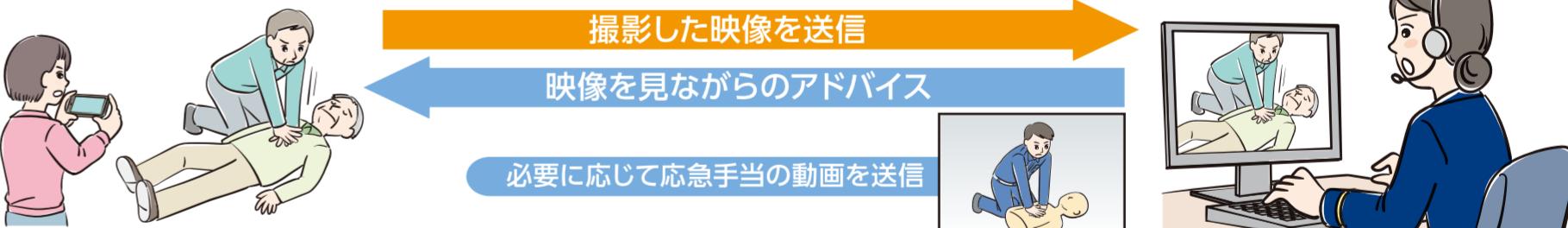
緊急通報を優先するため、救急搬送や災害に関係のない通報は、最後まで話を聞かずに電話を切断する場合があります。  
ご理解をお願いいたします。

救急車を呼ぶときは  
1つの電話機でかけてください。



## 応急手当のアドバイス「Live119」

スマートフォンでの119番通報時、現場の映像を東京消防庁職員とリアルタイムに共有することができるシステムです。現場をスマートフォンで撮影することで、状況を的確に職員へ伝えることができ、状況に合わせた応急手当のアドバイスが受けられます。



通報者は、東京消防庁からスマートフォンに送られてくるショートメールにアクセスするだけで、簡単に映像を共有することができます。※事前登録の必要はありません。

## 冬は救急要請が増加します

救急車の出場件数が増加すると、現場から遠い救急車が出場することが増え、一分一秒を争う現場への到着が遅れる恐れがあります。救急車の数には限りがあります。本当に救急車を必要とする人のもとへ、一刻も早く到着できるよう、救急車の適時・適切な利用にご協力ください。



### 救急車ひっ迫アラート

救急要請が増加または増加が予想される場合に、非常用の救急車を追加編成して、対応する際に発令されます。ホームページや公式アプリ、公式X(旧Twitter)からぜひご確認ください。



## 救急車を呼ぶか、病院へ行くか迷ったら

お電話で

東京消防庁救急相談センター#7119

相談医療チームが症状に基づき、救急車の必要性に関するアドバイスや受診可能な医療機関の案内などを電話で行っています。24時間365日、いつでもご利用できます。

インターネットで

「東京版救急受診ガイド」でチェック

インターネットで、病気やけがの緊急度、医療機関での受診の必要性、受診する科目などが確認できます。東京消防庁ホームページや公式アプリからご利用できますので、いつでも確認できるようURLを保存しておきましょう。

冊子は消防署で配布しています。

